

オンライン【ユニリハ】ポジショニング R.E.D. 理論編

～微小重力環境で行う筋緊張制御～

【ポジショニング R.E.D.】は、従来からある
『居室ベッド環境でのポジショニング技術講座』
ではありません。

病院、施設内訓練室や在宅でのリハビリ時間 30 分程度の
短時間で行うポジショニングです。

目的は長期療養生活者の関節拘縮の改善、関節可動域制限
の改善、呼吸循環機能の改善です。

ポジショニングで関節拘縮を緩和させ身体全体が柔らかくなる
効果を共有しましょう。しかも臨床のケアに応用できます。



「Zoom」を使用したオンラインセミナーです

・日時 2021年7月24日（土）14:00～17:00

参加費 5980円

・申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/detail.php?id=35137>

お問い合わせ 日本ユニバーサル リハビリテーション協会
TEL/FAX 042-208-0102
E-mail otmode@jcom.home.ne.jp
URL <http://universalreha.com/>

近年、身体質量と重力を拮抗させた環境で行うポジショニングアプローチを行う事で、筋緊張が安定し、
関節拘縮の変化と長時間持続する臨床研究が発表されました。

身体にかかる重力が小さくなり、収縮の必然性がなくなる筋、腱は、柔軟性を取り戻し、神経や感覚入力と
相互作用していきます。変化した身体状況は自律神経系の安定（副交感神経優位）や呼吸、循環へと波及し、
過緊張、低緊張など異常筋緊張の安定に結びついていきます。

低反撥マットレスを身体質量の比重に合わせて積層する環境設定という単純性は、高い再現性と介入者要因
に依存しない筋緊張制御となり、誰が介入しても同じ結果となります。このような現象、結果の蓄積により関
節拘縮の概念をも、確実に変える力を持っています。

講義スケジュール～研究及び臨床実績と理論編

重力をコントロールしたポジショニングを行うことで異常筋緊張に変化が起こ
り、姿勢や動作、ADL に影響した研究結果を具体的な症例と共に紹介します。

○長期療養生活者の筋緊張の緩和と関節拘縮の変化

○慢性閉塞性肺疾患患者の身体機能変化とバイタルの安定

○起居動作全介助の状態から短期間で移動、移乗、ADL を獲得した症例群

○理論の説明と応用および質疑応答

